



NPO PTPL “ともいき” 便り No.87

平成 27 年 (2015 年) 11 月 8 日発行

■立冬 (りっとう) 11 月 8 日から 11 月 22 日までの節気

「立冬」の節気に入りました。冬のはじまりです。今年はずでに木枯らし 1 号が吹き、北風が冬の子どもを乗せてやってきました。朝夕ぐーんと冷え込んできて、肌寒さを感じるころです。水仙がスッと、山茶花がフワッと咲きはじめるころです。

●一足早い冬支度。

久しぶりに金沢に行ってきました。1 年半ぶりです。

11 月 1 日の朝、金沢の兼六園に行き、透きとおった青空のもと珍しい光景に出会いました。それは、兼六園の冬の恒例の「雪吊り」の作業です。

「雪吊り」は兼六園の庭師にとっては一番の見せ場だそうで、準備は 10 月下旬からはじまり、作業は 11 月 1 日から。その日は園内の金沢神社で祈願し、作業に入ります。

最初に「雪吊り」を行うのは『唐崎松』と決まっています、午前 9 時から兼六園の庭師の皆さんが作業開始。

雪吊りの支柱にするのは県木に指定されている「アテの木」。松の枝を吊るす藁は毎年つくられ、使用後はたい肥にするそうです。

作業は、ひとは天辺に、数人が中間に、そして地上にてお互い声を掛け合いながらわら縄の吊るし作業が行われ、多くの観光客が作業に見入っていました。

※写真はフェイスブック「ともいきぐらし」に掲載していますので、是非ご覧ください。(https://www.facebook.com/tomoikigurashi)

●11 月 21 日 (土) は「十日夜 (とおかみや)」

旧暦 10/10 の夜に、子どもたちがわらで作った鉄砲で地面を叩きながらまわ

ります。また、刈り上げ餅と呼ばれる牡丹餅を作り、神棚に祀るなどの行事があります。

また、この夜の月は「中秋の名月」、「後の月・十三夜」に続く「三の月」と呼ばれ、これらを総称して「三月見」として観月の対象にされています。

今年は、今年、9月27日の「十五夜」、翌日の「スーパームーン」、そして10月25日の「十三夜」と夜空に光り輝く美しい月が見られました。

そして、今年の観月の締めとして「十日夜」が見られるといいですね。

●11月9日は「太陽暦採用記念日」

1872年(明治5年)11月9日、明治政府は太陰太陽暦(旧暦)から太陽暦(新暦)へと改暦を発表しました。

これによって明治5年12月3日が太陽暦の明治6年1月1日となりました。いきなり12月3日が大晦日となり、落語の「質屋暦」にあるように、当時の人々の混乱がうかがえます。

●11月15日は「七五三」

「七五三」は「成人式」や「結婚式」と同様、人生の通過儀礼の一つです。

3歳と5歳になった男の子、3歳と7歳になった女の子を持つ家庭では、美しく着飾った子どもの手を引いて神社に行って、「おかげさまで、こんなに成長しました。どうぞ、これからも見守ってください。」と、さらなる健康と成長を祈願する行事です。

しかし、昨今の「七五三」の祝い方に変化があるようです。和服ではなくドレスやスーツに身を包まれてホテルでパーティをしたり、記念写真を撮ったり、はたまた千歳飴がケーキになったりなどバラエティに富んでいるようです。

しかし、どんな祝い方にしろ、子どもの成長を願う親の気持ちは、今も昔も同じだなと感じます。

みなさま。これからますます寒くなっていきます。くれぐれも、お身体ご自愛ください。

佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局)

■ ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼是

大和言葉（和語）を使って会話や文章をより充実したものに・・・

大和言葉とは、太古の昔に私たちの先祖が創り出した日本固有の言葉です。また伝統の上に生まれた言葉です。

「大和言葉が日本人の心に染みるのは、日本の風土の中で生まれた言葉です。しかし、最近は、造語能力に富む看護や一見おしゃれな外来語に押されて、長く愛され、用いられてきた美しい大和言葉があまりつかわれていない、という現象が生まれています。これは本当にもったいない話。」（「日本の大和言葉を美しく話す」著者：高橋こうじ 発行：東邦出版より）

日本語で最も多く用いられている言葉は？

「心尽くし」「心立て」「心置き」「心配り」「心入る」「心有り」「心砕き」「心利き（きき）」「心嬉しい」「心合わせ」「心がけ」「心延え（ばえ）」「心回る」「心馳せ（ばせ）」「心根」「心残り」「心様（ごま）」などなど、一部は現在ではあまり用いられなくなっていますが、心がつく言葉が数多くあります。日本語ほど、心と組み合わせられた語彙が多い言語は見当たりません。

日本人は精神性が高く、その時々心のあり方を重視する国民ですね。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

本文で金沢の話をしました。今回の金沢訪問では初めて北陸新幹線に乗り、これまでは航空機の利用でしたので、新幹線からの車窓風景をご紹介します。

列車は軽井沢から佐久平を過ぎたあたりから、青空のもと、まだ真っ盛りとはいえませんが、山々は赤や黄に染まっています。列車はさらに進み、糸魚川あたりの日本海に出ると海は穏やかでしたが、車窓からの日本海の風景は曇り空のせいもあり、日本海は鉛色のどんよりと重い感じ。

一方、山側の車窓からは北アルプスの山々山頂はうっすらと雪化粧していました。

東京よりは一足早い、秋の深まり、そして、冬がそこまでつい近づいていることを感じます。

●北斎と雪月花

当NPOがサイト「ともいき」に掲載している「雪月花」と「富士三十六景 歌川広重」。

広重の「富士三十六景」の「武蔵越がや在」に「広重は雪月花がおりなす日本の四季風土を細やかにとらえた絵師であった。特に雨や雪、そして月の情景に多くの人々の琴線に触れる情趣あふれる世界を現出させた。」という解説があります。是非、これらのサイトをご覧ください、雪月花がおりなす日本の四季風土を感じてください。

雪月花：<http://www.tomoiki.tv/setugekka/>

富士三十六景：<http://www.tomoiki.tv/fuji36/>

●会員募集のご案内

NPO活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPLでは、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@ptpl.or.jp